

コミュニティワゴン青柳ルート 本格運行について

前回の会議で合意を頂いたコミュニティワゴン青柳ルートの本格運行化について、利用向上方策の検討とルート・ダイヤ・運賃について以下の通り整理した。

■ 1 利用向上方策

(1) 利用向上方策検討の考え方

- ・市、運行事業者だけではなく、利用者（地元自治会）、矢川駅付近の商店街なども加え、myバス意識を醸成していく。愛称、車両ラッピングデザイン等も含めて、地元で盛り上げる形で決めて実行していく。
- ・市も交通セクションだけではなく商店街振興を担当するセクションが参加する。

(2) 検討組織

- ・「コミュニティワゴン青柳ルート利用促進協議会」を立ち上げ、さまざまな意見や要望、アイデアなどを集約し実行に移していくものとする。
- ・協議会のメンバーは①青柳南団地自治会、②青柳自治会、③青柳中央会、④矢川メルカード商店会、⑤運行事業者、⑥国立市生活環境部まちの振興課を委員とし、事務局は都市整備部道路交通課交通係とする。

■ 2 ルート・ダイヤ・運賃・車両の定員

(1) ルートについて

- ・試行運行から変更なし。

(2) ダイヤについて（参考資料 1）

- ・運行日（日曜日と年末年始運休）、運行時間帯は試行運行から変更なし。
- ・試行運行結果を受けて⑱市役所～㉑第三団地・保健センター停留所間の時刻を若干調整することとした。

停留所名	変更前	変更後
⑱国立市役所	毎時 22 分	毎時 25 分
⑲谷保第二公園	毎時 23 分	毎時 26 分
⑳芸小・体育館	毎時 28 分	毎時 28 分
㉑第三団地・保健センター	毎時 29 分	毎時 28 分

- ・**利用実態、道路状況などから、20 便を矢川駅止まりとする。**

(3) 運賃について

- ・試行運行から変更なし

（大人一回乗車 200 円、小児 100 円、高齢者(70 歳以上)100 円、しょうがいしゃ半額、回数券は 50 円券 22 枚 1,100 円分を 1,000 円で販売。回数券の表紙を 5 枚集めると一冊プレゼント（プレゼント分の表紙は無し）

(4) 車両定員について

- ・試行運行から変更なし（運転士含め 10 人）

以上